

「原村・JOMO あゆみの森」における森林ボランティアの実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、CSR活動の一環として、2005年4月に長野県諏訪郡原村(村長:清水 澄)との間で「森林(もり)の里親」契約を締結し、原村の森林整備に協力しております。このたび、本年度第1回目(通算7回目)の活動として、5月26日と27日の両日、「原村・JOMO あゆみの森」およびその近隣において、社員等が参加して森林ボランティアを実施しました。
 2. 今回は、当社の役員や社員およびその家族等が、5月26日に「原村・JOMO あゆみの森」およびその近隣において補植(注)等を行いました。翌27日には毎年諏訪地区で開催されている植樹祭「諏訪地区森林(もり)づくりの集い」に参加し、地元の方々約300名とともに森林の健全育成のための植樹等を行いました。概要は次のとおりです。
 - (1)活動日:2007年5月26日(土)~5月27日(日)
 - (2)場所:長野県諏訪郡原村
 - (3)内容:26日/「原村・JOMO あゆみの森」での補植、森林講習、自然散策、木工等
27日/「諏訪地区森林(もり)づくりの集い」への参加および植樹
 - (4)参加人員:約70名(役員・社員・家族等)
- (注) 補植
新植した苗木は、土壌の条件、苗木の取り扱い、植え付け技術あるいは新植後の乾燥や病虫害などが原因で、枯損木が発生する。その枯損木を植えかえるために行う作業を補植という。
3. 長野県では、森林の健全な育成を図るため、2003年から「森林の里親促進事業」を推進しています。これは、長野県の仲介により、環境保全活動に取り組む企業と森林を保有する市町村が連携して森林整備に取り組むものです。当社は、本趣旨に賛同し、森林の里親として、二酸化炭素の吸収源となる森林整備のための資金を提供するほか、社員のボランティア等による整備活動を行っております。

以上

● 【参考資料】森林ボランティアの様様



補植作業の様様



「諏訪地区森林づくりの集い」で挨拶する柏木常務